

群馬の自然環境		講義	非常勤講師 新井 健司
科目カテゴリー	国際ビジネス学科の教養選択科目	科目ナンバリング	22200120

1. 授業のねらい・概要

群馬県は、2,000m級の山脈や火山が聳え、山間を縫う利根川水系の河川が変化に富む美しい景観をつくる内陸県である。群馬の自然には尾瀬や温泉などの豊かな大地の恵みがある一方、‘からっ風’や雷などの厳しい気象現象も存在する。

この授業では、群馬県の多様な自然を総合的に紹介しながら、人間の活動を支え、時には脅威となる自然の実態を理解してもらう。受講生諸君のふるさとの自然環境も新たな視点でとらえ、人と自然の共生について考えてもらいたい。

2. 授業の進め方

教室で、板書・画像映写を併用した口頭説明による対面式授業を行う。

3. 授業計画

1. 群馬の地形	9. 群馬の動物（2）（中・小型哺乳類）
2. 利根川水系	10. 群馬の動物（3）（鳥類）
3. 群馬の気候	11. 群馬の動物（4）（爬虫類）
4. ‘からっ風’	12. 群馬の動物（5）（両生類・魚類）
5. 雷	13. 群馬の地質と土地の生い立ち
6. 群馬の植物（1）（植物区系と植生）	14. 群馬の自然災害
7. 群馬の植物（2）（樹林帯と樹木）	15. 群馬の自然保護
8. 群馬の動物（1）（大型哺乳類）	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

次回のテーマについて、書籍・科学雑誌などで予備知識を持っておくと理解しやすい（約1時間）。テレビや新聞等の群馬県の自然に関する報道にも注意してほしい。授業後はノートを見直して、復習しておくこと（約1時間）。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

第5回と第10回の授業時に小テストを実施し、講評を付けた答案を返却する。理解度の確認と学修方法の見直しに役立ててもらおう。

6. 授業における学修の到達目標

4年間を過ごす群馬県の自然学習を契機に、日本の貴重な自然を大切にすることを育んでもらうことを目標とする。

7. 成績評価の方法・基準

試験（70%）、受講態度（30%）をもとに、成績評価を行う。

8. テキスト・参考文献

テキストは指定しないが、地名の確認のため、群馬県地図（何れの出版社のものも可）を用意するとよい。

9. 受講上の留意事項

授業には毎回出席し、やむを得ず欠席する時は、必ずメールで連絡すること。成績上、欠席理由に配慮する場合もあるが、病欠も含めた総欠席数が多い場合は、単位認定を行わない。なお、試験には十分に準備して臨んでもらいたい。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無
該当しない。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連
上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。